

2020. 7. 13

会員各位

幸徳秋水を顕彰する会
会 長 宮本博行
事務局長 田中 全

秋水「非戦の碑」建立 協力寄付金のお願い

拝啓 新型コロナウイルスとの共生が避けられない中、梅雨の長雨も重なり、うっとうしい日が続いていますが、会員の皆様はお変わりないでしょうか。

当顕彰会は、すでにご通知した通り、2021年、幸徳秋水生誕150年（11月5日）・刑死110年（1月24日）記念事業を計画しています。

その目玉として、二つ目の顕彰碑「非戦の碑」を、以下の通り、建立することを決定いたしました。（最初の秋水「絶筆碑」は、1983年、刑死70年記念事業として市内為松公園に建立）

1. 碑文 秋水が日露戦争前夜（1904年1月）平民新聞に書いた非戦論の中の一文「吾人は飽まで戦争を否認す・・・」
2. 場所 秋水墓のある正福寺境内
3. 時期 秋水生誕日に合わせ2021年11月
4. 事業費 約300万円 協力寄付金を募る。1口5千円。

秋水の非戦論は戦後、永久平和・戦争放棄の日本国憲法第九条として結実しました。憲法改悪論議が止まないいま、「反戦平和の原点」である秋水の非戦論を改めて心に刻み、平和を愛し、守る国民総意の象徴にしようではありませんか。

会員の皆様におかれましては、コロナ等による厳しい経済状況下ではありますが、趣旨にご賛同いただき、寄付（1口5千円、できれば複数口）にご協力くださいますよう、よろしく願いいたします。

ご協力くださった方には、お礼として「秋水絶筆色紙」レプリカを贈呈させていただきます。

チラシを複数入れさせていただきましたので、まわりの方にも協力を呼び掛けてくだされば幸いです。追加の郵便振替用紙が必要な場合はご連絡ください。何とぞ、よろしく願いいたします。

敬具

チラシは次ページ ↓

幸徳秋水 非戦の碑 建立

協力寄付金にご協力ください。

吾人は飽まで戦争を否認す

之を道徳に見て恐る可きの罪惡也

之を政治に見て恐る可きの害毒也

之を經濟に見て恐る可きの損失也

社会の正義は之が為めに破壊され

萬人の利益は之が為めに蹂躪せらる

吾人は飽まで戦争を否認し

之が防止を絶叫せざる可らず

幸徳 秋水

一九〇四年一月一七日 平民新聞

場所：浄土宗正福寺境内

時期：2021年11月(予定)

2021年は幸徳秋水生誕150年(11月5日)・
刑死110年(1月24日)にあたります。



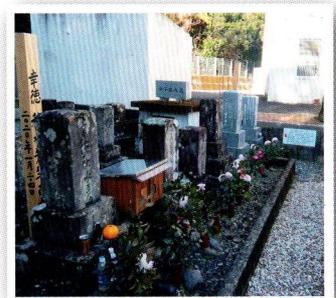
正福寺境内 建立予定場所

幸徳秋水は 1871年(明治4年)、中村に生まれ、土佐の自由民権の空気を吸って育ちました。若くして中江兆民に師事し、新進ジャーナリストとして活躍。日露戦争に対して、非戦論を唱え、戦争容認に転じた萬朝報社を退社。盟友堺利彦とともに平民新聞を発刊し、自由・平等・博愛・平和を掲げ活動しましたが、明治政府がでっちあげた思想弾圧事件(大逆事件)により、1911年(明治44年)1月24日、刑死しました。

秋水の非戦論は、戦後、永久平和・戦争放棄の日本国憲法第九条として結実しました。私たちは、いまこそ「反戦平和の原点」である幸徳秋水の非戦論を心に刻み、平和を愛し守る国民総意の象徴にしたいと思えます。

みなさまのご賛同と、ご協力をよろしくお願いいたします。

幸徳秋水非戦の碑 建立協力寄付金 (1口=5千円)
振込先 ゆうちょ銀行 一六九店 (イチロクキュウ店)
当座預金 9071
口座名義 幸徳秋水を顕彰する会



正福寺 幸徳秋水墓



秋水絶筆碑 1983年建立 為松公園

← 寄付にご協力下さった方に「秋水絶筆色紙」レプリカを贈呈します。

幸徳秋水生誕 150 年・刑死 110 年記念事業実行委員会

事務局 〒787-0010 高知県四万十市古津賀 4-4-1 四万十市生涯学習課内

幸徳秋水を顕彰する会 (ホームページがあります)

090-6827-9129 (田中全) zen-tanaka@heart.ocn.ne.jp